

当面それを暫定版とすればよい。

4. 気象用語の場合“大気科学学術用語”, “教育用語”, “気象業務用語”, “防災用語”, “社会的(放送用語を含む)用語”の間に差異がある。これまでその差異にあまりにも無神経であった。
5. 当面学術用語集(学術審議会, 学術用語委員会)

の改定を目標とするが,

- 1) 専門向けと教育向けを切り分ける。
- 2) 学術用語か気象業務用語かの切り分けを意識する。
- 3) 国際用語か国内用語かの切り分けを意識する。

## ≡≡≡支部だより≡≡≡

### 第7回中部支部公開気象講座のお知らせ

日本気象学会中部支部では一般の方々を対象に気象学の啓蒙を目的とした公開講演会を開催しています。今年「天気予報の昔, 今, 将来」というテーマで, 天気予報の変遷を昔から辿り, 今の天気予報, そしてこれから望まれる天気予報について参加者とともに考えてみたいと思います。興味のある方は是非, 会場にお越し下さい(参加の事前申し込みは行っていません)。

テーマ「天気予報の昔, 今, 将来」

プログラム

- (1) 天気予報の歴史と将来  
(白木正規, 名古屋地方気象台長)
- (2) 予測できるもの, できないもの  
(田中 浩, 名古屋大学教授)
- (3) 天気図解析と天気予報—ベテラン予報官の一日—  
(下山紀夫, 岐阜地方気象台長)

日 時: 2000年8月21日(月) 13時~16時30分

場 所: 愛知県勤労会館小ホール(210名)  
(名古屋市昭和区鶴舞一丁目2番32号)

電 話: 052-733-1141

交 通: JR 東海中央線, 鶴舞駅下車, 南へ徒歩5分  
地下鉄鶴舞線鶴舞駅下車(5番出口)南へ徒歩5分  
市バス東郊通1丁目下車東へ徒歩3分

お問い合わせ: 日本気象学会中部支部公開気象講座

事務局(名古屋地方気象台予報課)

電話 052-751-5125

あるいは名古屋大学大気水圏科学研究所,  
永尾一平

電話 052-789-3484,

e-mail: nagao@ihas.nagoya-u.ac.jp